

ハンター氏約定書譯

日本政府其國大坂に於て新ニ造幣寮ヲ建  
築シ將サニ全国通用ノ貨幣鑄造ノ爲メ官職  
ヲ設ケントスルヤ同寮首長其他官員ヨリ仕役ノ  
職ニ至ルマデノ補任ヲ右政府ヨリ東洋銀行  
ニ委任スルニ因テ此一千八百七十二年第一月廿六日此銀  
行ハ甲トナリジヨダウイリアムハンター氏ハ乙ニ於テ  
双方ノ際ニ右結ビタル契約ノ款條

第一款

此銀行ハ日本政府ノ爲ニ此ハンター氏ヲ以テ造幣

「」ノ字原  
以三見スル  
クハ誤脱ナリ

州 籍 世

寮助役「分析方」ニ補任シ毎月三百弗宛ノ給料ヲ拂渡スヘシ

第三款

補任ノ際限ハ日本へ到着ノ日ヨリ滿テ年トシテ其期限或ハ期限後ニ銀行或ハ政府ヨリ免職セシムルハ六ケ月前ノ告知ヲ要ス

第四款

此銀行ハ英國ヨリ日本マテノ間印度海飛船或ハ太平洋海飛船ニテモ上等ノ賃錢及諸旅費ヲ以テ「ハンター」氏ノ為ニ拂フヘシ

第五款

此「ハンター」氏旅行中ハ前ニ述タル給料ノ半ヲ銀行ヨリ拂渡ス可ク且壹ケ年分給料ヲ以テ養老支給金ノ代リニ資料金トシテ此「ハンター」氏自ラ遇失有テ政府或ハ銀行ヨリ退役申附ル外ハ何事ニ依テ免職スルハ其帰国ノ節ニ當テ前同様旅費并旅行中半給料ヲ拂フヘシ

第六款

此「ハンター」氏自己ノ便宜ヲ以テ日本到着ノ日ヨリ

五年未満ノハニ辭職スルハ旅費及資料金等受クカラズ但シ病氣ニテ辭職ノ節ハ旅費及ヒ旅行中半給料資料金等當リ前免職ノ旨ニ準シ拂渡スヘシ

第六款

此政府或ハ此銀行ヨリ此ハニター氏ノ為ニ適當ノ居宅ヲ大坂ニ於テ供給スヘシ

第七款

日本ニ於テ其官負ニ許可アル通例他行ノ免許若シ此ハニター氏ニ於テモ通例ノ振合ヲ以テ願フ

時ハ之ヲ與フヘキ

此盟約商議ニ就テハニター氏同人後嗣及受託管理人ト此銀行同社ノ後嗣及受産人ト約決スルヲ尤ノ如シ

第八款

造幣寮「分析局」助勤ノ役ヲ拝命シテ前條ノ約定ニ依テ勤ムルヲ承諾シテ日本ニ向テ出立スヘシ

第九款

誠実勉勵ヲ盡シテ規律法令ニ從フベシ

コトノ三ノ字  
上ト同シ

且臨時ニ首長ヨリ命スルモ遵奉スヘシ

此證據トシテ前ニ記載シタル年月日ニ於テ

此銀行ハ之ニ社印ヲ捺シ此ジョーヂ・ウィリアム

ハンター氏ハ自ラ花押ヲ爲シ其印ヲ鈐セリ

ジョウセフ・ラセル氏 記名

右ノ仁目前ニ於テ花押調印シテ前ニ掲ク

ルジョーヂ・ウィリアム・ハンター氏ヨリお達ス者也

ジョーヂ・ウィリアム氏

ジカムベル氏 記名

右ノ仁目前ニ於テ東洋銀行ノ社印ヲ捺ス也